

古文書史料目録

第 30 号

山形市 秋山家文書
米沢市 下新田文書

平成20年 3 月

山形大学附属博物館

凡 例

1. 本目録は、本館が平成19年に山形市瀬波の斎藤正志氏より寄託を受けた「秋山家文書」、並びに昭和38年に購入した「米沢市^{しもにいだ}下新田村文書」を収録したものである。
2. 分類は、日本十進分類法に準じて試案された天理大学図書館の平井良朋氏の研究による「近世資料主題分類法」に拠ったが、文書の地域性を考慮し、これに少々手を加えて改訂している。(別表)
分類番号は百区分項目毎の通し番号である。できる限り年代順に配列したが、整理の都合上、多少年代が前後したのものもある。
なお、年代の明確なもの、内容から年代の推定ができるもの、年代不明のもの順で列記している。
3. 本目録の記述事項は、太文字が分類番号と項目。続いて年号順の枝番号、表題、差出人(作成人)、受取人、年代、形態となる。
 - ① 表題は原表題のあるものはそのまま採録、表題のないものは内容にふさわしい表題を仮に命名し、括弧付けにした。原表題があっても内容の見当がつかないものは、できる限り詳細な内容を採って、これも括弧付けにしている。
 - ② 差出人(作成人)・受取人はそれが複数の場合「外〇〇名」と略記、紙面の関係上、花押・押印の有無については省略、肩書きも必要最小限とした。
 - ③ 形態は、単独、縦帳(半)、横帳(半)があるが、収集時の整理者が、関連もしくは同種類の文書をまとめて綴ったものに関しては合綴とし、可能な限り綴られた文書数を括弧付けで表記した。袋入りの単独文書も同様である。
 - ④ 文書中、明らかに誤字とわかるものも原文書の表記のままにし、欠損・破損等で判読できない文字は□で表記した。

最後に、本寄託文書を活字化し学術・研究、地域文化の向上のための利用に供することを、快くご承諾下さった秋山(斎藤)家のご子孫の皆様に深く感謝申し上げます。

秋山家文書目録の作成にあたり山形市十日町 川瀬 ^{ひとし}同氏より、下新田村文書の解説にあたり米沢市浅川 亀田昊明氏より種々のご教示をいただきましたことに感謝の意を表します。

山形市 秋山家文書

秋山家文書について

山形水野藩家臣であった秋山家は、現在の当主晴征氏はるゆき(千葉県在住)で十五代(武田信玄に仕え、武田家二十四将の一人秋山伯耆守信友あきやまほうきのかみのぶともを初代として)を数える。

秋山家に代々引き継がれていた文書を先代の未亡人キク工氏(平成18年95才で死去)が整理・保存されていたが、縁あって山形大学附属博物館が寄託を受け、再整理・分類したものである。

秋山氏が水野家に仕えたのは三代・秋山平太夫政重が最初であり、弘化3年(1846)十代平太夫晴利ただきよの時に水野忠精について浜松から山形に移る(移封年は弘化2年)。

水野藩剣術指南役・田嶋岩尾は八代・秋山園右衛門晴時の次男。秋山家に残された古文書の中にも剣術等の免許が多く(目録中「18軍事」に分類)、代々武門の誉れ高い家柄あったことが偲ばれる。

また、唐津移封時の領内一覧(目録中「14政務」に分類)は当時の唐津領内の様子が詳細に伝わり、明治以降の文書は維新後の士族の来し方をうかがわせる資料となっている。

山形市史資料71～73号(庶士伝後編 卷六)より抜粋

秋山 平太夫 政光

一、騎士、百石、宝暦九年己卯六月十九日、子兵介土道に不似合所行不埒により、未々仕ふ事なきにより、相続之者追而願ふへしと命す、十二年壬午八月五日隱居を願ふ、不許、明和二年乙酉正月廿八日因願隱居、五口、二月七日一法与改、三年丙戌四月十二日死

秋山 平介 政典

一、中扈従、宝暦九年己卯六月十九日、土道に不似合儀有により父江返され、実兄石原重賀方江戻し、出家すといふ

秋山 其右衛門政真

一、呼子周五子、初叶、宝暦八年戊寅七月九日下立、九年己卯五月十九日扈從、六月七日増二兩、十年庚辰八月十九日政光養子、十二月廿一日増二兩、明和二年乙酉正月廿八日家督無相違、勤向如故、二月七日其右衛門与改、六月朔騎士、七月四日死者役、安永九年庚子十二月十日死

秋山 園右衛門晴時

一、千葉政盛二子、初仲之助、明和六年己丑四月十一日稻垣正光か養子、九年壬辰十月四日中扈從、安永四年乙未十二月廿三日養家離縁、改而歩士、五年丙申正月廿一日逸平与改、天明元年辛丑二月九日政真末期願により、遺跡無相違騎士、四年甲辰七月廿三日園右衛門与改、六年丙午六月朔大納戸奉行、八年戊申五月廿一日役料三口、寛政六年甲寅十二月十五日船奉行、役料増二口、宗旨・公役奉行兼、十年戊午十月十八日目付、船奉行兼、役料五十苞直、享和元年辛酉正月十五日精勤を以銀一枚、八月廿四日精勤を以金五百疋、三年癸亥正月十三日旧知五十石、役料著止、七月六日精勤を以金二百疋、文化二年乙丑五月七日浦山奉行兼、三年丙寅七月廿八日船奉行、并兼勤を免、浦山奉行専心得、是迄精勤を以歩頭列、五年戊辰五月十日物頭順位、八月四日吟味役兼、浦山方を免、六年己巳四月四日郡奉行、足五十石、筆紙料並之通、十二月廿六日、先役中精勤を以銀一枚、九年壬申七月廿二日、公儀御役人通行により、精勤を以御服・銀三枚、十年癸酉四月十五日物奉行順位、九月廿一日死

秋山 園右衛門晴吉

一、晴時子、初平太郎、文化七年庚午十一月朔扈從、十八日叶与改、九年壬申八月廿六日表扈從、十年癸酉十一月廿三日、遺跡無相違騎士、文政十年丁亥五月廿八日園右衛門与改、安政二年乙卯十月廿四日依頼隠居、二十石、十一月廿四日束髪、姓名小倉乗心与改

秋山 平太夫 晴利

一、晴吉子、初仲之助、天保五年甲午六月十四日中扈從、十二年辛丑正月十一日平太夫与改、安政二年乙卯十月廿四日家督、百三十石、騎士、元治二年乙丑七

月廿六日死

秋山 最次郎 晴祝

一、晴利子、元治二年乙丑正月十一日廿歳、中扈従、八両三口、仲之助与改、十月二日遺跡百三拾石、騎士

田嶋 岩尾 晴正

一、秋山晴時二子、初武輔、天保九年戊戌十一月十日、劔術熟練するを以、給人列二而劔 術師役、十二口、十年己亥三月十一日岩尾与改、十三年壬寅四月廿九日取次兼、衣料金 四両、肩衣免、十四年癸卯十二月廿七日取次兼止、弘化三年丙午九月七日山形二移、安 政元年甲寅九月廿五日、諸事心懸宣、且実母仕方行届、門弟引立方宜二より金二百疋、文久二年壬戌三月四日出府、精勤を以上下、九日普天与改、十二月十二日、薬師河原茶 店二而新井田治右衛門一席二而酒食いたし、治右衛門酩酊之上手荒之所行候ハヽ、取斗 方可有之処、無念之旨を命す、三年癸亥十二月廿五日増三口

あきやまほうぎのかみのぶとも

秋山伯耆守信友について

秋山氏は武田家初代信義の弟、加賀美次郎遠光の長男秋山太郎光朝が祖といわれる。武田家と同族の(武田家と同じ甲斐源氏の流れをくむ)名族で、信友は秋山家十二代目の当主であり、戦国時代の武将・武田信玄に仕え、「武田家二十四将」の一人と称された。

ちなみに、秋山家の家紋は三階菱であり、菱紋で統一されている甲斐源氏一族一門(武田氏は四つ割り菱)の例にもれない。

信玄の近習衆から侍大将となり、信州伊那地方の守備を固め、飯田城代として織田信長を制し、信玄の六女「於松」と信長の長男「信忠」の縁組みでは、全権大使として信玄の名代を任せ外交手腕を発揮。また、三方ヶ原の合戦では徳川家康をして「武田の猛牛」と言わせた猛将でもあった。内政、外交、そして武勇と揃った武将は戦国の世でも多くはなかったかと思われる。

信玄西上作戦では信長の属城であった岩村城(岐阜県恵那郡岩村町、別名霞ヶ城、標高721メートルの高所にあり日本三大山城のひとつといわれる)を攻め落城させる。時に岩村城は城主・遠山景任が既に卒し未亡人が城を守っていたが、夫人を説得し婚姻を結ぶことで信友は城主となった。

しかし、長篠の戦いに武田勝頼が敗戦したことで戦況は一転、信友は織田領内に孤立した岩村城を死守するも織田軍に捕らえられ、夫人とともに長良川の河原で磔の極刑に処された。

秋山信友の実名については諸説があり、「甲陽軍艦」(武田軍の心得等を記したものであるが、その内容の信憑性については疑問もある)にも「秋山伯耆(現在の鳥取県の旧国名)守」という官位(受領名)でしか登場しない。ご子孫は「秋山伯耆守晴近」と認識されており、系図や軍記物では双方が使われているが、弘治2年(1556)に直轄していたところが「晴(春)近郷」という地であったため、信友もこの名で呼ばれるようになったものと推測される。秋山氏の騎馬隊も「晴近衆」と呼ばれていた。

徳川家康の生母である於大の兄、三河刈谷城主であつた水野下野守信元は織田信長に属して各地を転戦していたが、天正3年(1575)、信長から秋山信友への内通を疑われ、家康から殺害されている。後に秋山家が水野家に仕えることになるのは何かの縁であろうか。

秋山伯耆守信友略年譜

大永6カ7年 (1526、1527)	誕生(父 信任) 秋山家家系図では享禄3年(1530)年生まれとされている
天文15年(1546)	佐久郡内山城攻めで功あり
16年(1547)	信州伊那郡に侵入、砦三カ所を落とす
18年(1549)	信州高遠城を侵略
22年(1553)	桔梗ヶ原の合戦に出陣
23年(1554)	川中島の合戦に出陣
弘治2年(1556)	伊那郡代となる
永禄11年(1568)	信長のもとに於松・信忠の祝儀を届ける 徳川領遠江に侵攻
元亀2年(1571)	信玄の命により大嶋城を普請
3年(1572)	美濃岩村城を攻め、これを落とす 武田軍、遠江三方ヶ原で家康・織田援軍を破る
天正3年(1575)	5ヶ月間持ちこたえた岩村城、織田信忠に降伏 磔にされ死亡

参 考 資 料

- ・ 甲陽軍艦 上・中・下
- ・ 武田三代軍記
- ・ 甲乱記
- ・ 戦国遺文 武田氏編
- ・ 岩村町史 (岐阜県恵那郡岩村町)
- ・ 山形市史及び市史資料
- ・ 武田信玄詳細年譜 (柴辻俊六)
- ・ 武田信玄大事典 (柴辻俊六)

別 表

分類 番号	項 目	分類 番号	項 目	分類 番号	項 目	分類 番号	項 目	分類 番号	項 目
00	総 記	10	支 配	20	土地・租税	30	町 村 制	40	治安・救恤
01	歴 史	11	領 主	21	検 地 帳	31	町村役人	41	警備・取締
02	伝 記	12	藩 士	22	石 高 帳	32	町村行政	42	騷 擾
03	地 理	13	役 職	23	割付・取立	33	町村規定	43	違法・犯罪
04	地 図	14	政 務	24	上 納	34	町村財政	44	訴 訟
05	紀 行	15	法 令	25	正 税	35	五 人 組	45	裁 判
06	博物・医学 理数	16	財 政	26	附 加 税 雑 税	36	戸 口	46	凶 荒
07	芸術・芸能	17	藩営事業	27	国役・夫役	37	郷土・浪人	47	災 害
08	文 芸	18	軍 事	28	田畑・屋舗	38	百姓・町人	48	救 恤
09	学芸・教育	19	藩 学	29	林 野	39	穢多・非人	49	医療・福祉
50	農林・水産 鉱 工 業	60	土木・交通	70	金融商業	80	寺 社	90	家制・民俗
51	農民・耕作	61	建 築	71	通 貨	81	教理・教派	91	家 系
52	農 産 物 畜 産	62	道 路	72	金融機関	82	社寺法規	92	家族・相続
53	林 業	63	治 水	73	質 物	83	神官・僧侶	93	家産・生業
54	水 産 業	64	水 利	74	貸 借	84	祭典・宗儀	94	食制・服制
55	工業経営	65	交 通	75	売 買	85	祭 器	95	礼儀作法
56	繊維工業	66	宿 駅	76	商 組 織	86	宝 物	96	冠婚葬祭
57	雑 工 業	67	助 郷	77	商 人	87	建 造 物	97	民間信仰
58	食品加工業	68	運 輸	78	米 穀	88	社寺経済	98	年中行事 娯楽芸能
59	鉱 山 業	69	通 信	79	商品相場	89	布教・伝道	99	方言・伝説

番号	表 題	差出人 (作成人)	受取人	年代	形態
----	-----	--------------	-----	----	----

(00) 総 記

00- 1	倭王代一覧図 (木版)	坂本 伏見屋		延宝4年刊	単 独
-------	-------------	--------	--	-------	-----

(02) 伝 記

02- 1	東照宮御遺訓	水野臣秋山氏		江戸	冊 子
02- 2	武徳大成記 卷十五	不明	不明	江戸	"

※武徳大成記

江戸幕府がその権威を高めるため、徳川家および家康の事跡をまとめたもの

(04) 地 図

04- 1	湖東絵図	不明	不明	江戸	単 独
04- 2	藩蔵屋敷絵図カ	秋山カ		江戸	"

(05) 紀 行

05- 1	道中附覚 山形～北国街道～京・ 大坂～金比羅～奈良・ 伊勢～東海道～鎌倉・ 江戸・日光～山形	同行10人		江戸後期	横 小
-------	--	-------	--	------	-----

(07) 芸 術 ・ 芸 能

07- 1	謡の曲譜	刀町 茂吉カ	秋山カ	不明	単 独
-------	------	--------	-----	----	-----

(08) 文 芸

08- 1	賀歌 (和歌 短冊2枚)	明景 外1名		江戸	短 冊
08- 2	和歌五首	一専		江戸	単 独
08- 3	短歌五首	専一		江戸	"

08- 4	三河国名所和歌	不明	不明	江戸カ	冊子
08- 5	三山(芭蕉の句 拓本)	不明	不明	明治カ	単独

(09) 学芸・教育

09- 1	先進之章 ほか	秋山晴重		不明 4月22日	単独(2)
09- 2	秋山晴太郎履歴関係書類 小学校進級証 9 教員辞令 3 位記 1			明治15年～ 大正6年	" (13)

(11) 領主

11- 1	水野家系図	秋山控カ		江戸中期	冊子
11- 2	牧野喜右衛門を申付ル 次第(写) (上意討の命令書)	秋山忠吉	秋山平太夫 兵介	江戸中期 8月11日	単独(2)
11- 3	赤穂浪士預りの時覚	秋山メモカ		江戸	単独

(12) 藩士

12- 1	定(写) (婚姻につき定め)	武田勝頼	秋山伯耆守	天正元年 12月25日	単独
12- 2	定(写) (婚姻につき定め)	秋山宮内丞	秋山 左右衛門尉 ②後室	天正7年 8月20日	"
12- 3	定(写)(安堵状)	秋山宮内丞	秋山 左右衛門尉 後室	天正17年 8月17日	"
12- 4	高百石 ^{①あてがひ} の宛行状	水野忠善	秋山平太夫	寛文12年 正月11日	"
12- 5	高百石の宛行状	水野忠之	秋山園右衛門	正徳6年 4月9日	"
12- 6	加増五十石の宛行状	水野忠之	秋山園右衛門	享保2年 正月11日	"

※①宛行状

「あておこない」とも読む、上級者が下級者に田畑・所領・所職などを給与する文書

※②後室

身分の高い人の未亡人のこと

(13) 役 職

13- 1	宗門方覚書	秋山控カ		寛政7年3月	横 半
13- 2	宝暦5年 以来由緒書 控	秋山 叶		文化11年2月	単 独
13- 3	勤仕録	秋山晴利 写		天保2年	横 半
13- 4	秋山平太夫勤書 下書	秋山平太夫		嘉永5年4月	単 独
13- 5	江戸勤番之節手続覚	秋山仲之助控		江戸中期	"
13- 6	唐津御馬廻り勤向覚	秋山カ		江戸	単独(2)

(14) 政 務

14- 1	覚(白銀五枚ほか拝領)	藩庁	秋山園右衛門	安永5年2月	単 独
14- 2	諸大名并御両敬書御使者心得方	秋山カ		天保7年正月 写	横 小
14- 3	務方心得	佐藤多津馬 出し		嘉永3年 10月出の写	縦 小
14- 4	殿様御供方(覚)	秋山		明和元年以降	横 小
14- 5	六ヶ條(五節句・御目見等のしきたり)	秋山控カ		寛政10年以降	横 半
14- 6	領内村・町名主・年寄、出入商人、郡奉行、輩下役人一覧(唐津領内)	郡奉行 秋山 園右衛門晴時		江戸中期 (宝暦12年以降)	折 本
14- 7	出頭命令	松本主悦	秋山園右衛門	江戸 正月10日	単 独
14- 8	出頭命令	牛尾 四郎左衛門	秋山園右衛門	江戸 4月8日	"
14- 9	出頭命令	鈴木内記	秋山園右衛門	江戸 10月17日	"
14-10	出頭命令	関善左エ門	秋山仲之助	江戸 10月朔日	"

(15) 法 令

15- 1	^{①ぶつきりよう} 服忌令			元文元年 9月17日	横 帳
15- 2	服忌令	秋山		享和元年以降	"

※①幕府が親類縁者の死亡の際、喪に服する期間を定めた法令

(18) 軍 事

18- 1	感状 (写)	武田晴信	秋山式部 右衛門尉	天文17年 2月14日	単 独
18- 2	感状 (写)	武田晴信	秋山式部 右衛門尉	天文24年 7月19日	”
18- 3	侍大将 (の心得)	秋山控カ		正保4年 9月14日	縦 帳
18- 4	兵法習学目録	柳生但馬守 宗厳	秋山孫三郎	正保□年	単 独
18- 5	宝蔵院流十文字鎌目録 鎌鑓十文字免許状之事	森屋五良四良 外1名	秋山平太夫	寛文元年3月	卷 物
18- 6	十文字鎌鑓目録	鈴木俊翁	秋山平太夫	延享元年 9月11日	”
18- 7	一刀流免許	水野藤吾其章	秋山其右衛門	明和5年 12月25日	”
18- 8	大和流弓道目録・免許	安部五郎吉承	秋山源真	安永5年12月	”
18- 9	一刀流免許	熊倉彦左衛門	秋山園右衛門	寛政4年 4月26日	”
18-10	本高渡被仰出候一件	秋山控カ		寛政6年8月	冊 子
18-11	一刀流兵法歌目録	志賀彦九郎 清則	秋山 叶	文政4年5月	卷 物
18-12	一刀流兵法目録	志賀彦九郎 清則	秋山 叶	文政4年5月	”
18-13	兵法槍目録	大場勘左衛門 利正	秋山 叶	文政5年 正月14日	”
18-14	兵法鑓心持之事	大場勘左衛門 利正	秋山 叶	文政5年 正月14日	”
18-15	柔新心流居相歌目録	千葉大蔵政久	秋山園右衛門	天保5年4月	”
18-16	一刀流免許	千葉大蔵政久	秋山園右衛門	天保5年12月	単 独
18-17	柔新心流居相目録	千葉大蔵政久	秋山園右衛門	天保5年4月	卷 物
18-18	□流居合歌目録	千葉大蔵政久	秋山園右衛門	天保5年4月	”
18-19	兵法百首	千葉大蔵政久	秋山仲之助	天保8年 5月7日	”
18-20	一刀流兵法之目録	千葉大蔵政久	秋山仲之助	天保8年 5月7日	”
18-21	大坪本流目録	水野右衛英範	秋山仲之助	慶応2年2月	”
18-22	武芸習得控	秋山仲之助		慶応2年カ	単 独

18-23	兵法口巻 出陣吉凶知事	柳生但馬守宗巖	秋山孫三郎	正保頃カ	巻物
18-24	新陰流丸太刀之次第 新陰流奥位太刀数次第	柳生但馬守宗巖	秋山孫三郎	正保頃カ	〃
18-25	武林隱蹟録拔書 一刀流剣術伝記	不明	不明	江戸中期	〃
18-26	合戦心得記	秋山控カ		江戸	縦帳
18-27	楊修齡先生較足武経射学正宗 惑門	穎叔英父 著		不明	冊子
18-28	両面之大旗來記	宇津宮貞綱		不明	単独
18-29	末書 師範留書(軍法)	不明	不明	不明	冊子

(24) 上 納

24- 1	御収納之覚 正保2～文化7年	秋山控カ		文化7年カ	横帳
-------	-------------------	------	--	-------	----

(34) 町 村 財 政

34- 1	村入用など割		峰田儀左衛門	明治	単独
-------	--------	--	--------	----	----

(36) 戸 口

36- 1	秋山晴清の戸籍謄本	山形市長 小鷹銳健		大正12年 4月17日	単独(2)
36- 2	秋山キク工謄本 ほか	山形市長 金沢忠雄	秋山キク工	昭和42年 9月22日	

(43) 違 法 ・ 犯 罪

43- 1	手討之節一件書控	秋山カ		天明4年4月	縦小
-------	----------	-----	--	--------	----

(47) 災 害

47- 1	口書之覚 (私宅焼失)	遠山孫三	五十嵐 郷左衛門 尾上治部太夫	安政2年 3月16日	単独
-------	-------------	------	-----------------------	---------------	----

	(61) 建	築				
61- 1	口上 (書状 建物雨落ちの儀につき)	秋山	三好	明治カ	単 独	
	(69) 通	信				
69- 1	書状の包み紙 (中身なし)	海野与左衛門 次郎太	石原平左衛門 富岡加兵衛	江戸		
	(71) 通	貨				
71- 1	公債証書預證	第八十一国立 銀行頭取 阿部幸八外1名	秋山正次郎	明治12年 9月29日	単 独	
	(74) 貸	借				
74- 1	借用仕金子證文の事	丹野 □清左衛門	大場勘左衛門	文久3年11月	単 独	
74- 2	借用金子證文之事 (秋山平太夫取次)	丹野 □清左衛門	小林	文久3年11月	"	
74- 3	借用證文	岡崎又□	秋山平太夫	江戸亥12月	"	
74- 4	覚 (貸金及毎月米壹俵宛の計算書)	千 □□	秋山	江戸寅12月	"	
74- 5	覚 (貸金の明細)	不明	不明	江戸未カ	"	
	(78) 米	穀				
78- 1	覚 (米三十四俵余の毎月受入覚)	不明	不明	江戸	"	
	(80) 寺	社				
80- 1	宗旨改の證文	小倉乗心	柘植内匠 笹本藤馬	万延2年 3月19日	単 独	
80- 2	宗旨改証文	小倉乗心	尾上武右衛門 矢野 寛	文久4年 3月19日	"	
80- 3	拙者家内宗旨相改申候覚	秋山仲之助	赤星守人 松原泰蔵	慶応2年 3月19日	"	

(81) 教 理 ・ 教 派

81- 1	御真筆之写	日蓮	遠藤左衛門尉	文永11年 3月12日	横 帳
81- 2	御書写	不明	不明	江戸	単 独
81- 3	御文写カ (前後 欠)	秋山カ		江戸カ	"
81- 4	妙法蓮華経如来寿量品 第十六	不明	不明	不明	折 本

(84) 祭 典 ・ 宗 儀

84- 1	神様の縁日一覧	秋山カ		江戸	単 独
-------	---------	-----	--	----	-----

(91) 家 系

91- 1	秋山家親族小倉家系図	不明	不明	天和3年頃	単 独
91- 2	隠居及び家督譲願	秋山平太夫	御当番 御年寄中	宝暦14年 6月16日	"
91- 3	源氏系図 (実際は秋山家系図)	秋山 其右衛門カ		安永頃カ	単独(4)
91- 4	秋山家先祖書	秋山政明		天明2年 6月19日	縦 帳
91- 5	覚(嶋崎八弥家家族書)	不明	不明	明治	単 独
91- 6	先祖代々様 (先祖代々の法名・生 死などの一覧)	秋山キク工 作成		昭和42年8月 昭和50年8月	単独(2)
91- 7	秋山家系図 (由緒書の要約)	秋山キク工 作成		昭和57年 3月10日	単 独

(92) 家 族 ・ 相 続

92- 1	家譜の覚	秋山園右衛門		文化5年頃	単 独
-------	------	--------	--	-------	-----

(95) 礼 儀 作 法

95- 1	書状 (悔やみ、お祝い 届かぬに付)	道山小左衛門	秋山平太夫	安政6年 5月16日	単 独
95- 2	書状 (ふとん・火鉢さ し上げ)	漆山 道山儀兵衛	秋山平太夫	江戸中期	"

95- 3	書状 (旧知拝領にお祝い)	石原 平治右衛門	秋山園右衛門	江戸正月6日	単 独
95- 4	書状 (お礼に鱗一尾さ し上げ)		拙枯高庵	江戸子正月	”
95- 5	書状 (時候挨拶)	□□甲蔵	秋山カ	江戸 6月17日	”
95- 6	書状 (職務首尾よくの お祝い)	小倉武太夫	秋山兵太夫 兵 介	江戸	”
95- 7	書状(お願いあるに付)	橋本吉十郎	秋本尊兄	江戸	”
95- 8	書状 (時候見舞)	島崎八弥	秋山庄次郎	明治初年	”
95- 9	書状 (司法省出仕の知らせ)	川瀬(カ)重治	水野源冷 秋山正次郎	明治初年 1月19日	”
95-10	書状 (巡查志願ほか)	不明	不明	明治	”
95-11	書状 (近況報告)		秋山正二郎	明治	”
95-12	書状 (近況・母三周忌など)	島崎八弥	秋山正次郎	明治	”
95-13	書状 (千三百円損失ほか)	佐伯	秋山カ	明治	”

(96) 冠 婚 葬 祭

96- 1	命名書		秋山カ	文政12年 11月17日	単 独
96- 2	書状(おすず病死に付)	島崎八弥	秋山正次郎	明治	”
96- 3	書状 (縁談に付)	□ 弥	仲之助	明治カ	”

(97) 民 間 信 仰

97- 1	書状 (木曾の先達に祈 禱頼みに付)	嶋崎八弥	秋山正次郎	明治初年	単 独
-------	-----------------------	------	-------	------	-----

米沢市 下新田文書

しもにいだ

下新田村文書について

下新田は現米沢市。米沢盆地の中央部、米沢市の北東部にあたり、最上川(松川)上流部右岸に位置する農業地帯である。(地域地図参照)

近代においては明治4年から22年までの村名。新田村が上新田・下新田に分かれ、大字は旧村名を継承し成立した。村高は「旧高旧領」980石余。明治11年の一覽全図では、反別1,701反余、戸数68、人口364人とある。

明治22年の市政施行により南置賜郡から米沢市が独立、下新田と近隣の川井・木和田・竹井・長手・上新田・浅川の7ヶ村が合併し上郷村(もと屋代郷の中の上郷地区にあったため命名)となり、昭和30年に米沢市に編入される。屋代郷のうち、上郷地区は羽黒川・松川に接していて、川の西側に位置する上杉藩と川東の御領地が隣接する地域であるが、羽黒川を境にして、住民の気質や生活習慣にも歴然とした違いがある。米沢市内とはいうものの、上郷地区は高畠文化圏という趣があるのはそのためであろう。

また、上郷地区の中で下新田は浅川などととも北部地域に区分され、地区の平野部の中では一番低地帯であり、「大谷地」といわれる大湿地帯であった。大谷地の排水という問題に加え、昭和に入ってからまで天王川・松川の増水などで洪水の災害にあうことが多かった。山形大学附属博物館・附属図書館で所蔵している上郷地区の文書群の中にも河川の氾濫、普請に関するものが多く目立つ。

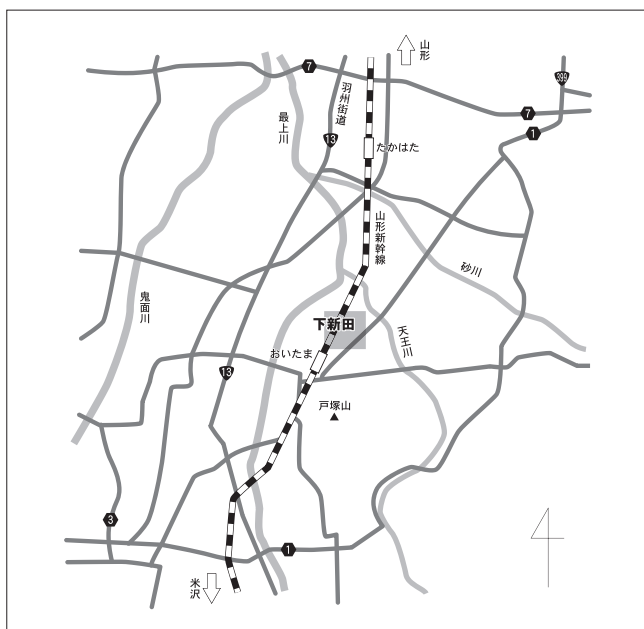
屋代郷は近世において上杉領・幕府領・幕府直轄支配地・上杉藩の預地になったりと、支配系統が複雑に絡み合い、地元民はそれぞれに翻弄されてきた。屋代郷文久騒動などはこのようなことが背景にあって、起こるべくして起きたものであろう。

下新田村文書の特徴として、明治期の検地帳(分類番号20)や、田畑・屋敷(分類番号22)が多いことが挙げられる。また、文書の内容から個人所蔵のものではなく、役場などに保管されていた古文書と思われる。

なお、山形大学附属図書館には上新田村文書296点、上新田村名主伊左衛門家文書279点が所蔵されており、「新田村検地水帳」(元禄5年から安永年間のもの)など、こちらは近世のものがほとんどである。両館のものを併せれば新田村の近世から近代における村政のあらましがわかる史料となるであろう。

参 考 資 料

- ・上郷郷土史(上)
- ・米沢市史 近代編



番号	表 題	差 出 人 (作成人)	受 取 人	年 代	形 態
(15) 法 令					
15- 1	御布達綴			明治20年11月15日 ~同21年4月26日	冊 子
(20) 検 地					
20- 1	惣輪分間野帳	下新田村		明治 7 年 5 月17日	横 小
20- 2	道江筋分間野帳	第六大区小一区 下新田村		明治 7 年 5 月23日	”
20- 3	道江筋分間野帳	第六大区小一区 下新田村		明治 7 年 5 月23日	”
20- 4	道江筋分間野帳	第六大区小一区 下新田村		明治 7 年 5 月23日	”
20- 5	惣輪分間野帳	第六大区小一区 下新田村		明治 7 年 5 月26日	”
20- 6	惣輪分間野帳	第六大区小一区 下新田村		明治 7 年 5 月26日	”
20- 7	道江筋分間野帳	第六大区小一区 下新田村		明治 7 年 5 月	”
20- 8	道江筋萱畑分間野帳	第六大区小一区 下新田村		明治 7 年 6 月 1 日	”
20- 9	惣輪分間野帳	第六大区小一区 下新田村		明治 7 年 6 月 3 日	”
20-10	惣輪分間野帳	第六大区小一区 下新田村		明治 7 年 6 月 3 日	”
20-11	惣輪分間野帳	第六大区小一区 下新田村		明治 7 年 6 月26日	”
20-12	屋敷見分帳	横尾 謙蔵 高橋 安治		明治 7 年 8 月	”
20-13	屋敷見分帳	大属 中村 衡太郎 高橋 安治		明治 7 年 8 月	”
20-14	惣輪萱畑分間野帳	今野 善治郎		明治 7 年11月	”
20-15	分見帳	下新田村		明治 7 年12月	”
20-16	分見帳	下新田村		明治 7 年12月	”

20-17	林分間野帳	分見方 高橋 八重蔵	明治8年 4月15日	横 小
20-18	切違見直記	地券調所	明治8年4月	"
20-19	分見帳	高橋 善道 外2名	明治8年5月	"
20-20	分見帳	分見方 高橋 八重蔵	明治8年5月	"
20-21	分見帳	分見方 高橋 宗蔵	明治8年	"
20-22	分間帳	分見方 高橋 先生	明治8年	"
20-23	地押二付発見異動地野 取帳 1.	調方	明治20年5月	"
20-24	地押二付発見異動地野 取帳 2.	調方	明治20年	"
20-25	地押二付発見異動地野 取帳 6.	調方	明治20年6月	"
20-26	宅地分見帳	下新田村 地押調所	明治20年 旧11月	"
20-27	地押異動地、道堀、草 地引合野帳	調人 新野作右工門 外2名	明治21年4月	"
20-28	地押取調手帳	下新田村 新野	明治21年4月	"
20-29	異動地丈量取調帳	地押取調会所 高橋 芳之助	明治21年 5月29日	"
20-30	異動地丈量野取帳	地押取調会所 落合 先生	明治21年 5月30日	"
20-31	異動地丈量手控帳	地押事務所	明治21年5月	"
20-32	異動地丈量手控帳	地押取調会所 高橋 栄助	明治21年5月	"
20-33	異動地丈量帳	地押調所	明治21年5月	"
20-34	発見異動地丈量帳	地押調方	明治21年5月	"
20-35	野取丈量帳	寒河江安蔵 外4名	明治21年 6月10日	"
20-36	字持係丈量帳	新野作右工門 今野 勇助	明治21年	"
20-37	地押二付手帳		明治21年	"

20-38	分見直シ帳		分間方 新納作右エ門 高橋 雙増	明治	横 小
20-39	下新田村地引帳 之内壹	六冊		不明	冊 子
20-40	下新田村地引帳 之内貳	六冊		不明	"
20-41	下新田村地引帳 之内參	六冊		不明	"
20-42	下新田村地引帳 之内四	六冊		不明	"
20-43	下新田村地引帳 之内五	六冊		不明	"
20-44	下新田村地引帳 之内六	六冊		不明	"
20-45	下新田村地引帳 之内壹	六冊		不明	"
20-46	下新田村地引帳 之内貳	六冊		不明	"
20-47	下新田村地引帳 之内參	六冊		不明	"
20-48	下新田村地引帳 之内四	六冊		不明	"
20-49	下新田村地引帳 之内五	六冊		不明	"
20-50	下新田村地引帳 之内六	六冊		不明	"
20-51	下新田村地引帳 (地籍壹番～380番)			不明	"
20-52	下新田村地引帳 (地籍381～460)			不明	"
20-53	下新田村地引帳 (地籍514～569)			不明	"
20-54	下新田村地引帳 (地籍570～622)			不明	"
20-55	下新田村地引帳 (地籍623～838)			不明	"
20-56	下新田村地引帳 (地籍1,759～2,158)			不明	"

20-57	羽前国置賜郡下新田村 地籍扣 甲		不明	冊 子
20-58	羽前国置賜郡下新田村 地籍扣 乙		不明	”
20-59	地押扣		不明	”
20-60	地押扣		不明	”
20-61	丈量野取帳	寒河江・高橋・大木	不明	横 小
20-62	町村地図調製式及更正 手続		不明	冊 子
20-63	野取絵図帳	東置賜郡 下新田村	不明	”

(21) 石 高 帳

21- 1	田畑反別検見名寄帳	入生田村	享和元年	横 帳
-------	-----------	------	------	-----

(22) 田 畑 ・ 屋 敷

22- 1	開発定高附之事	下新田村名主 作右衛門 外		単 独
22- 2	(村河原地私開発之義 二付)取究申儀定之事	肝煎 作右衛門 外		”
22- 3	田畑萱畑新開高差引帳	名主 清重郎	明治5年2月	横 帳
22- 4	田畑萱畑新開高差引帳 壹番			”
22- 5	田畑萱畑新開高差引帳 二番			”
22- 6	田畑萱畑新開高差引帳 壹番			”
22- 7	田畑萱畑新開高差引帳 二番			”
22- 8	田畑萱畑新開高差引帳 前			”
22- 9	田畑萱畑新開高差引帳 後			”
22-10	草地沿道堰除地反別帳	戸長 近野善次郎外	明治8年6月	冊 子
22-11	名寄惣計	戸長 高橋五郎右衛門	明治9年8月	横 帳

22-12	民有地御指令并二地券御下渡之節右数御渡書			明治9・10年	合 綴
22-13	当丑田畑萱林収穫米差引帳 弍号	里正 高橋五郎右衛門		明治10年2月	横 帳
22-14	当丑田畑萱林収穫米差引帳 弍号	里正 高橋五郎右衛門		明治10年2月	"
22-15	当丑田畑萱林収穫米差引帳 1印一	里正 高橋五郎右衛門		明治10年2月	"
22-16	当丑田畑萱林収穫米差引帳 1印二	里正 高橋五郎右衛門		明治10年2月	"
22-17	明治十年賃入収穫米書菝帳	里正 高橋五郎右衛門		明治10年3月	"
22-18	明治十年讓収穫米書菝帳	里正 高橋五郎右衛門		明治10年3月	"
22-19	野地拝借之義二付願	區長 齋藤 篤信	山形県知事 薄井 龍之	明治10年	冊 子
22-20	当寅田畑萱林収穫米指引帳 弍号	差配人 高橋五郎右衛門		明治11年2月	横 帳
22-21	明治拾壹年拾弍月田畑永代壳渡筆数書菝帳	用掛 濱田次兵衛		明治12年2月	"
22-22	明治十二年一月田畑賃入筆書菝帳	用係 濱田次兵衛		明治12年2月	"
22-23	当辰反別収穫米戸毎取纏帳 弍号	下新田村用係 新野作右衛門		明治13年2月	"
22-24	村共有地分裂帳			明治14年11月	合 綴
22-25	当酉収穫米地価戸毎指引帳	書記 大木茂平次		明治18年 8月25日	横 帳
22-26	地目變換御届書	下新田村戸長 浅井明諒 外	山形県知事 柴原 和	明治19年 8月22日	冊 子
22-27	地目變換地盤丈量每筆野取絵図	戸長 浅井明諒	山形県知事 柴原 和	明治19年 8月22日	"
22-28	当戌収穫米地価戸毎指引帳 弍号	惣代 大木 茂平次		明治19年 10月21日	横 帳
22-29	当戌収穫米地価戸毎指引帳 弍号	惣代 大木 茂平次		明治19年 10月21日	"
22-30	実地取調二付誤謬改正脱落地畦畔廢設達地目變換及開墾地々価修正	地押惣代人		明治19年10月	冊 子

22-31	当亥収穫米地価戸每指引帳 壹号	惣代 大木 茂平次		明治20年 8月15日	横 帳
22-32	当亥収穫米地価戸每指引帳 貳号	惣代 大木 茂平次		明治20年 8月15日	”
22-33	地目変換御届	濱田富吉 外	山形県知事 柴原 和	明治21年 6月20日	冊 子
22-34	土地台帳調製二付手続扣	東置賜郡 下新田村調所		明治21年12月	”
22-35	名寄壹号帳	下新田村		明治21年12月	”
22-36	地目変換御届	東置賜郡 下新田村		明治21年	”
22-37	土地合併願	東置賜郡 下新田村		明治21年	”
22-38	土地分割訂正願	新野作右衛門 外	山形県知事 柴原 和	明治21年	”
22-39	誤謬訂正願	長沢 秀次 外4名		明治21年	”
22-40	民有開墾地価修正願	長沢 秀次 外	山形県知事 柴原 和	明治21年	”
22-41	土地分割訂正願	新野作右衛門 外		明治21年	”
22-42	地価金訂正願	高橋 孫兵衛 外	山形県知事 柴原 和	明治21年	”
22-43	地価金訂正願	願人 長沢 秀次 外		明治21年	”
22-44	当丑反別地価戸每差引帳	惣代 高橋五郎右衛門		明治22年2月	横 帳
22-45	新名寄組直二付差引明細帳	地押調方		明治22年4月	”
22-46	新名寄組違書抜帳	惣代元		明治21年 旧3月	”
22-47	特別地価修正下組帳 字高野	上郷村大字下新田		明治22年9月	冊 子
22-48	特別地価修正下組帳 字萩野	上郷村大字下新田		明治22年9月	”
22-49	特別地価修正下組帳 字広野	上郷村大字下新田		明治22年9月	”
22-50	特別地価修正下組帳 字前原	上郷村大字下新田		明治22年9月	”
22-51	特別地価修正下組帳 字持添・泥之木	上郷村大字下新田		明治22年9月	”

22-52	特別地価修正下組帳 字吉野・三合兔	上郷村大字下新田	明治22年9月	冊子
22-53	特別地価修正下組帳 字平八・荒屋敷	上郷村大字下新田	明治22年9月	〃
22-54	特別地価修正下組帳 字袖谷地・辛子木	上郷村大字下新田	明治22年9月	〃
22-55	特別地価修正下組帳 字明神堂	上郷村大字下新田	明治22年9月	〃
22-56	明治貳拾貳年度地価差 引下組帳	高橋五郎右衛門	明治22年	横帳
22-57	土地売買沿革表	大字下新田	明治23年4月	冊子
22-58	堤防新築潰地承諾証		明治23年9月	合綴
22-59	上郷村大字下新田地内 官地取調筈	大字下新田惣代	明治25年3月	冊子
22-60	荒蕪官有地開墾無料借 用願		明治25年3月19日～ 同26年9月11日	合綴
22-61	荒蕪地開墾無料借用許 可書		明治26年8月19日～ 同27年1月31日	〃
22-62	地所二関スル願届其他 扣綴		明治26年～34年	〃
22-63	草年期払下反別及料金 解除願		明治27年 1月19日	〃
22-64	予約無料開墾地払下願		明治28年	冊子
22-65	田畑反別収穫米名寄帳		不明	〃
22-66	名寄壹番帳	下新田村	不明	横帳
22-67	名寄貳番帳	下新田村	不明	〃
22-68	名寄三番帳	下新田村	不明	〃
22-69	名寄四番帳	下新田村	不明	〃
22-70	名寄五番帳	下新田村	不明	〃
22-71	名寄六番帳	下新田村	不明	〃
22-72	名寄帳		不明	〃
22-73	名寄帳		不明	〃
22-74	名寄帳		不明	〃
22-75	名寄帳		不明	〃
22-76	田畑宅地山野地積名寄 帳		不明	冊子
22-77	田畑反別地価金調		不明	〃

22-78 田畑山野反別地価名寄帳 不明 横 帳

(23) 林 野

23- 1 秣苅取之儀二付願 明治14年6月16日
~同20年3月21日 合 綴

(24) 割 付 ・ 取 立

24- 1 羽州米沢領下新田村卯御成箇割付之事 森 勘四郎 名主・惣百姓 享保8年10月 単 独

24- 2 当亥御年貢可納割付之事 角 傳藏 外4名 名主・与頭・惣百姓 享和3年10月 ”

24- 3 当寅御年貢可納割付之事 須佐 権平 外4名 名主・与頭・百姓代 天保元年12月 ”

24- 4 当丑御年貢可納割付之事 丸田伝右衛門 外6名 名主・与頭・百姓代 天保12年12月 ”

24- 5 荒地免税願一筆限 東置賜郡 下新田村 明治18年9月 合 綴

24- 6 潰地減租願 寒河江 平蔵 外 山形県知事 柴原 和 明治21年6月 冊 子

24- 7 道路潰地減租願潰地減租願 寒河江 平蔵 外 山形県知事 柴原 和 明治21年6月 ”

24- 8 御年貢可納割付之事 (前後欠) 不明 ”

24- 9 誤謬納租願 東置賜郡 下新田村 不明 ”

(30) 町 村 制

30- 1 (御領私領御境松川堀替之義二付) 相渡申一札之事 宝曆13年

(33) 町 村 規 定

33- 1 村中取究證文之事 名主 茂右衛門 外 文政6年9月 単 独

(45) 救 恤

45- 1	村御備粉小前貸附帳		明治6年	横 帳
45- 2	村御備粉小前貸渡シ帳	里正 高橋 五郎右衛門	明治10年4月	”
45- 3	村御備粉小前貸附取立帳	里正 高橋 五郎右衛門	明治10年12月	”
45- 4	村備粉貸渡帳	村用係 濱田 治兵衛	明治11年6月	”
45- 5	村御備粉小前貸附帳	村用掛 新納作右衛門	明治12年 5月1日	”
45- 6	村備粉取立帳	用係 新野作右衛門	明治12年～ 明治13年2月7日	”
45- 7	村御備粉小前蔵入納帳	用係 新野作右衛門	明治14年 1月9日	”
45- 8	村備粉貸付帳	用掛 新野作右衛門	明治14年 6月17日	”
45- 9	村備粉蔵入納帳	用掛 新野作右衛門	明治15年1月	”
45-10	村備粉貸付帳	用係 新野作右衛門	明治15年 5月13日	”
45-11	村備粉取立筭	用掛 新野作右衛門	明治16年 1月7日	”
45-12	村備粉貸附帳	用係 新野作右衛門	明治16年5月	”
45-13	村備粉取立帳	用掛 新野作右衛門	明治17年1月	”
45-14	村備粉貸附帳	新野作右衛門	明治17年 5月22日	”
45-15	村備粉拾壹年より拾七年迄貸付分取調帳	大木茂平次	明治19年12月	”

(52) 耕 作

52- 1	村持開発新田小作證文之事	小作人 半四郎 外	村御役場	文久2年12月	単 独
-------	--------------	--------------	------	---------	-----

古文書史料目録 第30号

山形市 秋山家文書
米沢市 下新田文書

2008年3月発行

編集兼
発行人 山形大学附属博物館

〒990-8560
山形市小白川町1丁目4-12

☎023(628)4930 (直通)
